

他にもあります！学校・子どもたちと社協のかかわり

夏休み親子探検隊「介助犬がやってくる」



小学校3年生～6年生とその保護者を対象に毎年開催しています。補助犬に関する話や、PR犬による実演を行います。「補助犬が障害のある人を助けていることが分かった」「親子で福祉について考えるきっかけになりました」等の感想をいただきました。

子どもがつくるまち「ミニたまゆり」への参加



「ミニたまゆり」は子どもたちが「まち」をつくり、運営する田園調布学園大学のイベントです。本会は「まち」の仕事で、近隣の福祉施設と一緒に「人助けの仕事」に参加しました。「人助けをしてありがとうと言われたことがうれしかった」と体験した子どもが話していました。

柿生地区社会福祉協議会 親子の食育講演&料理実習



小学生を対象に「食の大切さ」を知ってもらうため、ふるさと指導士の方を講師にお呼びして開催しています。親子で地元野菜について話を聞き、お雛様・お内裏様の飾り寿司を作りました。参加した子どもたちは節分の日の良い思い出になったと思います。

麻生東地区社会福祉協議会 炊き出し体験



中学生が、地域参加を通して地域の一員であることを意識してもらうため、地区社協の部会員と一緒に避難所運営研修会と炊き出し体験に参加しました。薪材の切断、アルファ米の調理などを体験。意見交換会では積極的に自分の意見や家庭での取り組みについて話していました。

小・中・高校の先生との福祉教育に関する懇談会



区内の福祉教育を推進するために、学校の先生方と福祉施設・当事者団体・ボランティアグループなどの代表者で懇談する機会を作っています。福祉教育の意義について理解を深めるとともに、推進する上での方法について検討することを目的として毎年夏頃に開催しています。

委員研修「川崎市のキャリア在り方生き方教育」



区内の学校の実情について、福祉教育推進委員が理解を深め、今後の学校との連携に活かすことを目的に開催しており、講師は小中高、養護学校の校長先生にお願いしています。平成29年度は長沢中学校の渡邊校長先生にお願いし、川崎市のキャリア教育についてお話をいただきました。

お気軽にご相談ください



麻生区社会福祉協議会では、福祉教育に関するご相談に応じ、様々なお手伝いをしています。

- ①福祉教育の授業・講義内容についてのご相談
- ②福祉教育にご協力くださる外部講師・団体の紹介
- ③麻生区内の福祉に関する情報提供
- ④福祉体験教材の貸出

※外部講師・団体の紹介には、日程の調整が必要になる場合がありますので、開催日の2か月くらい前から余裕を持ってご相談ください。

※外部講師の依頼・福祉体験教材の貸出をご希望される際には、「福祉教育申込書」にてお申込みください。「福祉教育申込書」はお電話いただくか、麻生区社協ホームページからダウンロードできます。

お問い合わせは

川崎市麻生区社会福祉協議会

〒215-0004

麻生区万福寺1-2-2

新百合21ビル1階

電話：952-5500

FAX：952-1424

URL

<http://www.kawasaki-shakyo.jp/asao/>

メール

info@asao-shakyo.com

麻生区社協

検索 

ホームページは
こちらから→

